



# 環境省報道発表

令和4年4月22日(金)

## 令和4年度クールビズについて

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた一人ひとりのライフスタイルの脱炭素型への転換を推進する取組の一つとして、室温の適正化とその温度に適した軽装などの取組を促す「クールビズ」を今年度も推進します。
- 昨年同様、地域による気候の違い等を踏まえ、全国一律の実施期間の設定は行いませんので、各地域の状況、日々の気温、それぞれのワークスタイルや仕事環境等に応じて、適正な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい軽装に取り組んでいただくようお願いいたします。
- 環境省としては、例えば東京においては、例年5月から9月は夏日が月の半数以上であることを踏まえ、5月～9月末まで集中的に呼び掛けを行います。
- また、一般社団法人 日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会と連携し、各団体会員企業の店舗において、冷房温度緩和の取組を行うなど、クールビズの取組を推進いただきます。

<詳細は次ページ以降>

|                  |              |          |  |
|------------------|--------------|----------|--|
| 内容についての問合せ先      |              |          |  |
| 環境省地球環境局地球温暖化対策課 |              |          |  |
| 脱炭素ライフスタイル推進室    |              |          |  |
| 代表               | 03-3581-3351 |          |  |
| 直通               | 03-5521-8341 |          |  |
| 室長               | 岩山 政史        | (内 5797) |  |
| 室長補佐             | 井上 昇         | (内 5798) |  |
| 主査               | 野副 友里        | (内 5802) |  |
| 担当               | 林 晃平         | (内 5804) |  |

## 1. 概要

クールビズは、適切な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい軽装に取り組んでいただくことで、多様で柔軟な働き方にも資する省エネ・省CO2を図るものです。

昨年同様、地域による気候の違い等を踏まえ、政府が全国一律の実施期間の設定を行うことはしませんので、各地域の状況、日々の気温、それぞれのワークスタイルや仕事環境等に応じて、適正な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい軽装の取組をお願いいたします。

環境省としては、例えば東京においては、例年5月から9月は夏日が月の半数以上（参考参照）であることを踏まえ、この期間（5月～9月末まで）に集中的に呼び掛けを行います。

環境省では、クールビズの実施を始めとして、住宅の断熱化や太陽光パネルの設置、省エネ家電への買換え、EV等の電動車の導入、ワンウェイプラスチックや食品ロスの削減など、脱炭素型のライフスタイルへの転換を呼び掛けていきます。  
具体的な行動の実践に当たっては、衣食住・移動・買い物など日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットをまとめた「ゼロカーボンアクション30」も参照ください。

### 【クールビズとは】

地球温暖化対策の一環として、平成17（2005）年度から政府が提唱する、過度な冷房に頼らず様々な工夫をして夏を快適に過ごすライフスタイル。室温の適正化とその温度に適した軽装などの取組を呼び掛けています。軽装以外の取組としては、省エネ型エアコンへの買換え、西側の日よけのブラインド、日射の熱エネルギーを遮蔽する効果がある緑のカーテンなどを推奨しています。

### 【ゼロカーボンアクション30とは】

日常生活において取り組むことのできる具体的な脱炭素化のための30項目の行動の選択肢と、暮らしを脱炭素化することによる様々なメリットを「ゼロカーボンアクション30」として発信し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国民一人ひとりの脱炭素型ライフスタイルへの転換を推進しています。

<http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/>

## 2. クールビズ 知っておいていただきたいポイント

### ○クールビズは気温に合わせた柔軟なライフスタイル

熱中症予防の観点も踏まえ、冷房時の外気温や湿度、建物の状況、体調等を考慮しながら、無理のない範囲で、冷やしすぎない室温管理の取組をお願いします。  
大切なのは、無理せず、かつ過度な冷房に頼らないことです。

### ○健康につながるクールビズ

平成19（2007）年に「猛暑日」が設定され、平成30（2018）年には、日本の観測史上最高気温（埼玉県熊谷で41.1℃）を更新、令和2（2020）年も（静岡県浜松で41.1℃）同最高気温を観測するなど、年々暑さが増しています。  
こうした中、外気温と室温との差が大きいと、体の自律神経やホルモンバランスを崩しやすくなったり、冷えに慣れて汗をかかないでいると、汗腺が退化して、体温調整機能が働

かなくなってしまうなど、健康への影響を指摘する専門家もいます。暑くなってきているからこそ、体にやさしい、地球にやさしいクールビズを実践する意義が高まっています。

### ○お財布にも優しいクールビズ

クールビズは、軽装などの取組を実践することにより、快適に夏を過ごしつつ「冷房の適切な使用」を実践し、冷やし過ぎないことを目的としています。冷房の使用に当たっては、例えば、フィルターを定期的に掃除したり、夏場、家に帰って室内に熱がこもっている場合は、まず窓を開けて熱気を逃がしてから冷房をするなど、エアコンを賢く使用することで、冷房効率が上がり、お財布にも優しくなります。

### ○脱炭素型のライフスタイルにつながるクールビズ

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、再生可能エネルギーの普及拡大とともに、省エネの取組も重要です。比較的気軽にできるクールビズによる省エネの取組をきっかけに、さらに「ゼロカーボンアクション30」なども参考にいただき、健康、快適、経済的で脱炭素型のライフスタイルに、まずはできるところから取り組んでいただければ幸いです。

## 3. クールビズ 環境省による情報発信

### ○クールビズサイト

- ・クールビズに関する情報を掲載しています。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/coolbiz/>

### ○ダウンロードポスター

- ・クールビズポスターのデータを、以下よりダウンロードできます。

<http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/tool.html>

## 4. 各業界における取組事例

### ○一般社団法人 日本百貨店協会との連携

日本百貨店協会では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素型ライフスタイルへの転換を衣・食・住の様々な商品を通じてお客様に呼びかけます。また、クールビズの実施により、熱中症対策への呼びかけも行います。

### ○日本チェーンストア協会での取組

日本チェーンストア協会では、環境対策や節電の継続の重要性の両面からクールビズに協力し、会員企業の店舗内の空調の適正な温度設定を実施します。お客さまに御理解をいただきながら、従業員の夏の軽装の実施やお客さまへの暑さ対策の提案などを通じて、ライフスタイルの変革を呼び掛け、クールビズの周知に取り組みます。

### ○一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会での取組

日本フランチャイズチェーン協会では、地球温暖化防止及び節電対策に貢献するため、会員企業に対してクールビズの取組を呼びかけています。会員企業では“店内を適正温度に設定”“ユニフォームの軽装化”など、各企業がそれぞれの取組を行う予定です。

(詳細は日本フランチャイズチェーン協会ホームページに掲載)

<https://www.jfa-fc.or.jp/>

## 5. 家庭の CO2 排出量等を簡易に推計できる各種ツールについて

環境省では、家庭の CO2 排出量等を簡易に推計できるツールを公開しています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対応として、自宅で過ごす時間が長くなったこのタイミングで、パソコンやスマートフォンで、家庭の電気・ガス使用量や CO2 排出量、家電の省エネ性能を確認してみたいはかがでしょうか。

### ○省エネ製品買換ナビゲーション「しんきゅうさん」

家電を買い換える際に、購入予定製品（新）と使用中の製品（旧）の情報を入力することで、新旧製品の年間の消費電力量・電気代・CO2 排出量の比較が簡単にできるツールを公開しています。以下から御活用ください。

(<http://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusan/>)

### ○うちエコ診断のワンポイントアドバイス・ツール

電気・ガス料金等の情報から各家庭の CO2 排出量を簡単にチェックできるツールを公開しています。改善のためのアクションや、それを実施した場合の光熱費の節約や CO2 削減の効果も同時に確認できます。以下から御活用ください。

(<https://www.uchieco-shindan.jp/jushin/check.php>)

(参考)過去 5 年間の夏日（日最高気温 25 度以上）平均日数

|    | 5 月    | 9 月    | 10 月   |
|----|--------|--------|--------|
| 札幌 | 3.6 日  | 8.0 日  | 0.4 日  |
| 仙台 | 7.8 日  | 17.4 日 | 2.6 日  |
| 東京 | 16.8 日 | 21.8 日 | 7.6 日  |
| 大阪 | 17.2 日 | 27.0 日 | 10.8 日 |
| 福岡 | 17.2 日 | 27.8 日 | 10.0 日 |
| 那覇 | 28.2 日 | 30.0 日 | 29.0 日 |

気象庁 各地のデータより作成

以上

事務連絡  
令和4年4月22日

大臣官房各課（室）  
内部部局の局  
政策統括官（統計制度担当）（恩給担当）  
サイバーセキュリティ統括官  
行政不服審査会事務局長  
情報公開・個人情報保護審査会事務局  
官民競争入札等監理委員会事務局  
電気通信紛争処理委員会事務局  
政治資金適正化委員会事務局  
施設等機関  
管区行政評価局  
四国行政評価支局  
沖縄行政評価事務所  
総合通信局  
沖縄総合通信事務所  
公害等調整委員会事務局  
消防庁

総務（庶務）担当課長 殿

大臣官房秘書課長

#### 執務室での軽装の励行（クールビズの実施）について

執務室での軽装の励行（クールビズの実施）については、政府全体として積極的に取り組んでいるところであり、当省においても下記のとおり実施しますので、貴部局等の職員に対し周知徹底方お願いします。

#### 記

- 1 本年は、昨年同様、全国一律の期間設定は行わず、各地域の状況、それぞれのワークスタイルや仕事環境等に応じて、職員各自の判断による働きやすい服装での勤務を奨励するものとする。

- 2 特に、夏日が月の半数以上である期間（例えば東京では、例年5月から9月までの期間）においては、軽装の励行に取り組むものとする。なお、庁舎内の会議室についても、公務部外の者が出席する会合等であって儀礼上軽装が適当でない場合を除き、執務室に準じるものとする。
- 3 軽装とは、以下を基本形とするが、具体的には職員各自が適切に判断することとする。
  - （1）背広の上着を着用しない。
  - （2）ネクタイを着用しない。
  - （3）半袖シャツ等の夏向きのシャツを着用する。
- 4 軽装に当たっては、ランニング、短パン、ビーチサンダル及びこれに類する執務室における服装として社会常識を著しく逸脱するような服装は避けるものとする。

(参考)

## クールビズの服装

|          |   |
|----------|---|
| ノーネクタイ   | ○ |
| ノージャケット  | ○ |
| 半袖シャツ    | ○ |
| かりゆしシャツ  | ○ |
| ポロシャツ    | ○ |
| アロハシャツ等  | ○ |
| Tシャツ     | × |
| ランニングシャツ | × |
| チノパン     | ○ |
| ジーンズ     | × |
| ハーフパンツ   | × |
| スニーカー    | ○ |

○・・・可

×・・・原則不可

来 庁 者 の 皆 様 へ

当省においては、以下の取組を行っております。  
皆様方の御理解、御協力をお願いいたします。

**多様で柔軟な働き方にも  
資する省エネ・省CO2対策  
として、執務室での軽装を  
励行中です。**

総 務 省

各府省庁 環境施策担当 各位

環境省地球環境局地球温暖化対策課  
脱炭素ライフスタイル推進室

## 令和4年度における「クールビズ」の実施について

平素より地球温暖化対策に御尽力いただき感謝申し上げます。

本日の閣僚懇談会で環境大臣から発言がありましたとおり、「クールビズ」については、長年の実施により社会慣習として定着していること、地域により気候が異なること等を踏まえ、昨年度から、全国一律の期間設定は行わないこととしております。

今年度も、各地域の状況、日々の気温、それぞれのワークスタイルや仕事環境等に応じて、適正な温度での空調使用と各人の判断による快適で働きやすい軽装の取組をお願いいたします。

環境省としては、例えば東京においては、夏日が月の半数以上である5月から9月を中心として、「クールビズ」の実施を集中的に呼び掛けてまいります。

また、炭素中立型の経済社会の実現に向け、また、原油価格高騰等に対する対策としても、省エネを含めた国民一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。住宅の断熱化や太陽光パネルの設置、省エネ家電への買換え、電動車の導入、ワンウェイプラスチックや食品ロスの削減など、脱炭素型のライフスタイルへの転換に向けた取組の促進について、各府省の御協力をお願いいたします。

(参考) 過去5年間の夏日(日最高気温25度以上) 平均日数

|    | 5月    | 9月    | 10月   |
|----|-------|-------|-------|
| 札幌 | 3.6日  | 8.0日  | 0.4日  |
| 仙台 | 7.8日  | 17.4日 | 2.6日  |
| 東京 | 16.8日 | 21.8日 | 7.6日  |
| 大阪 | 17.2日 | 27.0日 | 10.8日 |
| 福岡 | 17.2日 | 27.8日 | 10.0日 |
| 那覇 | 28.2日 | 30.0日 | 29.0日 |

気象庁データより作成

## &lt;連絡先&gt;

環境省地球環境局地球温暖化対策課  
脱炭素ライフスタイル推進室

電話：03-5521-8341

担当：林、野副、井上

## クールビズの実施について

令和四年四月二十二日（金）閣僚懇  
環境大臣 発言 要旨

一 「クールビズ」については、長年の実施により社会慣習として定着していること、地域により気候が異なること等を踏まえ、昨年度から、全国一律の期間設定は行わないこととしております。

二 各地域の状況、日々の気温、それぞれのワークスタイルや仕事環境等に応じて、適正な温度での空調使用と各人の判断による快適で働きやすい軽装に取り組んでいただければと思います。

三 環境省としては、例えば東京においては、夏日が月の半数以上である5月から9月を中心として、「クールビズ」の実施を集中的に呼びかけてまいります。

四 炭素中立型の経済社会の実現に向け、また原油価格高騰等に対する対策としても、省エネを含めた国民一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。住宅の断熱化や太陽光パネルの設置、省エネ家電への買換え、電動車の導入、ワンウェイプラスチックや食品ロスの削減など、脱炭素型のライフスタイルへの転換に向けた取組の促進について、各府省の御協力をお願いいたします。